

発行：(一社) 東京都建築士事務所協会 北部支部
メールアドレス：info@taaf-hokubu.jp.org

支部総会・懇親会



令和7年5月22日(木)の17:00より吉祥寺エクセルホテル東急にて令和7年度北部支部総会が行われた。議案書に沿って、令和6年の事業、決算報告及び承認、令和7年度の事業計画、予算案、役員改選、支部規則(準測)、慶事規定などについて話し合われた。委任状を含む総出席会員合計30社の承認を得て議案は成立した。

その後18:00~同ホテル7階オークルームにて定期総会懇親会が執り行われた。来賓として松本洋平衆議院議員代理、木原誠二衆議院議員代理、福田かおる衆議院議員代理、小林洋子小平

市長、小美濃安弘武蔵野市長、浜中のりかた都議、東まり子都議、渋谷のぶゆき都議にご出席頂き、皆様よりご挨拶の言葉を頂いた。小平市長からは市報でも耐震診断についての案内を大きく載せるなど、市として非常に重要に考えているというお話があった。東都議はご親族が建設業に係られており幼いころから建築、建設になじみ深い環境で育ったなどのエピソードを頂いた。浜中都議からは地元住民の意見を大切に、都へのパイプ役を果たして行きたいとの力強い言葉があった。



協力会の方々のPRは大いに盛り上がった。PR会進行役の鈴木馨氏からは会社商品の話に留まるのではなく、自己紹介も含んで良いとのことだったので、趣味の事や近況等の話にも及んだ。普段、経営や営業に携わっておられる方々が多いためか、皆さん各々魅せるトークの力を存分に発揮されていた。令和7年度も地域貢献のために力を合わせて進んでいけることを実感した会となった。



一般財団法人
さいたま住宅検査センター

一般財団法人 さいたま住宅検査センター 東京事務所
〒180-0023 東京都武蔵野市境南町2-11-22
(第一飛翔ビル3階)
TEL.0422-38-8390 FAX.0422-38-8392
HP <http://www.sjkc.or.jp/>



アルミニウム製建具、鋼製建具
YKK AP株式会社
東京ビル建材統括支店立川支店

〒190-0012東京都立川市曙町1-27-10
読売立川ビル6F
TEL: 042-521-1020

ヘーベル・ベースバック・アスロック・イーゼット・フレームキット
販売施工 **名取屋興産株式会社**

TEL 042 (341) 8811 FAX 042 (345) 1002



未来の笑顔のために

Construction
KIKUCHI

菊池建設株式会社

〒188-0001 東京都西東京市谷戸町3-17-6

TEL:042-422-4535 FAX:042-421-4600

<http://www.kikuchikensetsu.co.jp>

武蔵野さくら祭り



3月30日(日)武蔵野桜まつり(主催:武蔵野市)は支部から7名が参加。まち大工、武蔵野建設業協会中央支部からも7名が参加して「住まいのよろず相談会」を行った。当日は晴天に恵まれた。当初雨が予想されたが、開催者や市民はホッとしたであろう。

桜は5分咲きと云った処であった。市役所も周りの道路には桜並木がある。桜も何十年もたつと大木になり、歩道を塞ぐようになった。歩く邪魔にならないよう枝を剪定し、また植え替えた所もあった。以前より小ぶりの木が多かった気がする。しかし結局、「花より団子」という諺もあり、公園内のテント

には多数の食べ物屋が出店して、昼時には長蛇の列になっている。

当方のテントも午前中から順番待ちであった。「なんでも相談」に来る人は家族づれが多い。子供が「釘打ち体験」やストローハウスづくりを楽しんでいる間に親に相談会の趣旨を告げ、パンプの配布や相談を受けた。延べ200くらいは来たであろうか。今年も盛況であった。終了後は12~13人で懇親会を行った。

武蔵境ピクニック

武蔵境ピクニックが5月17日(土)に開催された。

武蔵野市のイベントでは「武蔵野ピクニック」というものがある。武蔵境駅周辺を回ってスタンプラリーを繰り広げる催しだ。大勢が時間をかけてゴールする所に私たち「住まいのよろず相談会」が待ち受けているという状態だ。勿論スタンプラリーに行かない市民も大勢いる。公園の中央に大きなテントがあり、その周りに6帖ほどのテントが無数配置されている。

だが、今年は雨に見舞われてしまった。朝からスタンプラリー参加者が戻るまで終始雨で、まち大工の釘打ちやストローハウスは中止、その代わり花を配りながらアンケートを書いてもらった。本部席のテントでは、市長や、主催者の挨拶があった。このまま雨で終わると思いきや、スタンプラリー参加者が戻ると天気はその時だけ一変して雨が止んだ。そこで盛大なくじ引きが開催され、多くの市民が豪華賞品を手にしていった。初めてこの様な雨の中で苦勞した相談会であったが、参加者の笑顔も見れた印象深い催し物であった。

ゴルフトピックス

4/10(木) 北部支部ゴルフ大会:大月カントリー- 16名参加 優勝:杉山氏、準優勝:鈴木馨氏
6/9(月) 第6ブロックゴルフ大会:都留カントリー- 北部支部第三位

支部行事

3/30(日) 武蔵野さくら祭り
5/10(土) はらっぱ水防・防災フェスタむさしの
5/17(日) 武蔵境ピクニック
5/22(木) 北部支部総会、役員会、懇親会:吉祥寺エクセルホテル東急
5/27(火) 北部支部例会、特別講演:武蔵境スイングホール
6/30(金) 第6ブロック会議:立川支部担当(ホテルエミシア東京立川)

入会から一年余りが経過しました。

一昨年、東京にて「合同会社スケールデザイン二級建築士事務所」を設立した際、地縁や人的つながりの乏しい中での事務所開設となりました。業務基盤の確立と同時に、他の事務所との交流や、実務に関する情報交換の機会を得ることを目的として、貴会に入会させていただきました。イベントや会議等には可能な限り参加し、日々の業務に活かせる知見を得るとともに、所属の安心感と人とのつながりの重要性を改めて感じています。

私はもともと群馬県にて設計事務所を開業しておりました。

子供の頃から群馬に住み、田舎暮らしそのもので、礼儀の為に始めた空手、柔道、柔術など格闘技経験を積みながらも、本を読み、絵を描くのが好きな子供でした。

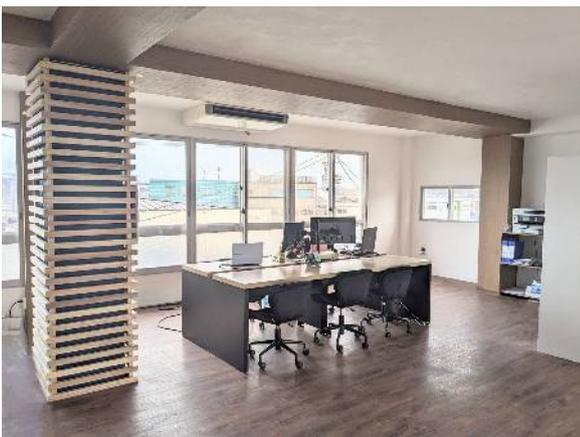
ぼんやりと建築士を目指そうとしたのは、小学5年生の美術の先生の影響で建物の絵を描くのが好きになった事がきっかけだったように思います。

当時、色をつけるのが苦手で、大雑把になりがちだったのを先生に教わりながら、直線的な建物を題材に描き褒められたのがより明確な何かを思った瞬間でした。

その後、雑ながらも絵を描き続け、美術そのものにも興味を持ちましたが、そこは趣味程度になりました。大学も建築(美術)と空手の両立ができそうな所を当時なりの自分の意思で選び、色々世界を知り、空手や美術など道半ばで辞めたその中でも続けた建築を仕事にしているのはなにを言った所で建造物そのものが好きだったのだろうなと思うところです。



現在、当事務所は、住宅設計を中心に、用途変更やコンバージョン、耐震改修等の案件にも携わっており、小規模ながら、施工や現場監理まで一貫して対応する体制を整えております。設計のみならず、現場での施工や検査業務にも積極的に関与し、実務者としての幅を広げていくことを重視しています。



元々、建築道具そのものが好きだったのもあり、以前から腰袋をして道具も使う建築士として珍しげに見られていましたが、今でも自分できる所は自分でも手を動かすなどをして、これから先自分自身でセルフビルド、、セルフリノベーション、古屋再生などを通じて自分で住む場所を自らの手で準備するなども考えています。

建築業界は現在、技術者不足や公共事業の縮小、高齢化などの様々な課題を抱えていますが、そのような中であっても、知識と技術の両面から自らの実務力を高め、業務の幅を広げることで、より柔軟かつ持続可能な形で建築に携わっていければと考えております。

今後とも、皆様からのご指導を賜りながら、研鑽を積んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます

岡本氏の事務所の様子

岡本様ご協力誠に感謝しております。

自動ドア・ステンレス建具

NABCO ナブコシステム株式会社

西東京支店

〒186-0001 国立市北1-4-3

TEL : 042-575-1725

<http://www.nabcosystem.co.jp>

LIXIL

株式会社 LIXIL 東京支店 東京西第3営業所
立川市泉町841-141 TEL 042-503-1031

役員会・新役員発表（敬称略）

支部長 石橋 勉
副支部長 田中 幸男（新） 小山 充男 奥山 安雪 渡邊 泰司（新）
支部会計 奥山 安雪（新）
支部監事 高橋 功次 鈴木 馨（新）

支部例会・懇親会

山辺豊彦氏 特別講演



北部主催の第3回例会が5月27日（火）13:00～16:30に武蔵野市スイングホールレインポーション、レセプションルームB（南棟11階）で開催され、83名が参加した。第一部では、北部支部協力会によるPR会（次号季刊誌に内容を掲載）。第二部では、講演会が行われた。今回の例会では正しい木構造の知識を広めるために多くの貢献をされている山辺豊彦先生をお招きして木造建築の耐震性と改修についてをテーマにした講演会を開催した。「山辺の耐震改修」という本の内容を示しながら地震で壊れやすい建物形状と対策、在来の耐震補強の事例について説明頂いた。

講演会の中で、昨年元旦に起きた能登半島地震についてもお話が有り特徴として2021年から2023年にかけて3万2000回以上の群発地震が発生したことを指摘、これらの地震により建物に疲労が蓄積し、繰り返しの振動を受けて建物の耐力が減少し更なる大きな被害をもたらしたとの解説をされていた。今回のことで木造建物の疲労について新たな研究テーマが浮上しているとの情報も頂いた。また、能登半島地震について現地の写真を示しながら、液状化や山崩れによる道路の損傷、孤立集落の発生などの被害状況のご説明があった。特に輪島市や珠洲市での建物被害に注目して木造建物の壊れ方について分析した内容を解説頂いた。調査で得たデータとして地震時の木造建物の年代別被害状況について、1981年以前の建物は約40%が大破または倒壊したのに対し、1981年から2000年の建物は約16-17%、2000年以降の建物はさらに少ないという統計をお示しされた。これは熊本地震の際のデータとも一致しているとのことである。講演の後半では、耐震診断と補強設計の進め方について具体的な事例を交えて解説となり、特に建物の構造的特徴の把握、力の流れの理解、床の剛性確保の重要性などが強調されていた。耐震設計の基本理念として、新築時は中小地震に対する損傷防止と大地震時の倒壊防止の両方が求められるのに対し、耐震改修時は大地震時の倒壊防止のみが求められると説明された。また、文化財建築の耐震補強事例として、前橋の臨江閣別館や神社仏閣の補強方法についても詳細に説明頂いた。

最後に、山辺氏は首都圏で予想されるマグニチュード7クラスの直下型地震への備えについて言及し、地盤の良し悪しが建物の被害に大きく影響することを話されていた。なお講演全体を通して、木造建築の耐震性向上のためには、構造計画の重要性、力の流れの理解、連続性の確保などが重要であることを強く話された。

講演会終了後には会員、非会員の方々を交えて山辺氏への感謝と共に懇親会が開かれた。寛いだ雰囲気の中、交流を深める良い会となった。



大 建

東京都東村山市秋津町3-50-3

042 (393) 1177

生コン販売・ALC（ｸﾘｯﾌﾟ）・耐火被覆他

日興産業株式会社

TEL 042-342-0044 FAX 345-9576